

4/8
朝日

高齢者接種 12日開始

ワクチン 施設入所者から

新型コロナ

65歳以上の高齢者を対象にした新型コロナウイルスワクチン接種が、県内で12日から始まる。集団感染や重症化のリスクを軽減するため、県は高齢者施設の入所者と職員から始める方針で、まずモデル接種として17市町の計34施設（対象4729人）で実施する。

県が6日発表した接種計画によると、「モデル接種につなげる」は各市町1～3施設。12日に始まる福井市の新田塚ハウス、越前市の第3和

上苑、越前町の光道園第三光が丘ハウスを皮切りに、13日から敦賀市、大野市、あわら市、永平寺町、14日から坂井市、美浜町、おおい町、15日から小浜市、勝山市、鯖江市、池田町、南越前町、高浜町、若狭町の各施設で順次スタートする。

県は7日、福井市の40代会社員女性と敦賀市の20代会社員男性の計2人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。いずれも軽症。また、感染して入院していた80代の男女2人が同日死亡した。県内の死亡者は2月14日以来52日ぶりで計27人になった。感染者の累計は628人で、現在65

福井県だけという。

モデル施設以外の約320施設の入所者と職員への接種は4月下旬から、一般の高齢者への接種は5月から始まる見込み。県内の高齢者は計約23万人で、希望者全員への接種を終えるのは8月ごろになりそうとう。

（佐藤孝之）

新たに2人感染

県の担当者はモデル接種の狙いについて「各市町と医療従事者がノウハウを身につけ、他の高齢者施設、さらに一般の高齢者へのスマートな接種につなげる」と話す。高齢者への接種を各市町1～3施設。12日12日の週から県内全市町で一緒に始めるのは、全国で

人が入院している。